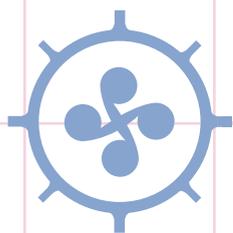




子ども園からはばたく元気な卒園児



あなたと議会のかけはし

ふだい

議会だより

No. 123

平成25年 5月16日発行

- 第2回定例会 2～3頁
- 第1・3回臨時議会 3頁
- 新年度予算と主な事業 4頁
- 一般質問「ここが聞きたい」 5～7頁
- 予算特別委員会 8～9頁
- 村民と議会との意見交換会 10～11頁
- 主な議会の動き 12頁

平成
25年度

予算総額40億274万円を可決

前年比15億4千万円減

平成25年度 第2回定例会

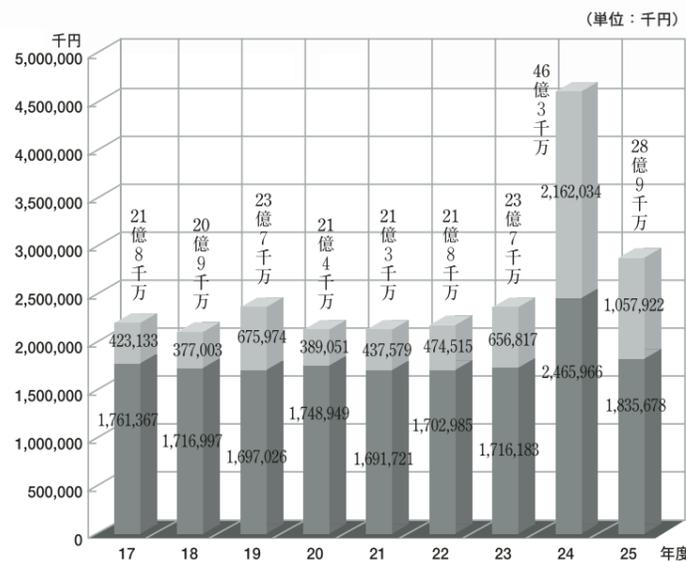
3月定例会は3月5日から8日まで、4日間の会期で開かれました。定例会の初日には、榎屋村長の施政方針演説が行われ、続いて佐々木教育委員長が教育行政基本方針を説明しました。その後一般質問には3人が登壇し、防潮堤建設、高齢者対策、職員の採用計画などについて、村の考えをたいただきました。

提案された平成25年度当初予算、平成24年度補正予算、条例改正、指定管理者の指定など31議案、報告1件を審議しすべて原案どおり可決しました。平成25年度予算については、予算特別委員会を設けて集中審査しました。



普代村を守った和村元村長を讃える顕彰碑(左側)

一般会計予算の推移



※ 特定財源(グラフ上段)は使途が決められた財源、一般財源(グラフ下段)は村の裁量で使用できる財源

平成25年度の一般会計と、6特別会計を合わせた当初予算総額は40億274万円になりました。

前年度と比べると15億4356万円の減少となります。主な要因は震災の復旧・復興が進み予算が減額となったことによるものです。

【変更請負契約の締結】
防災行政無線デジタル化にともない、中継局への通信を光ケーブルで行う予定が無線通信で行うことにしたことから、より7366万1千円増額になったものです。

▽工事名 普代村防災行政無線災害復旧施設(設備) デジタル化整備工事
住所、盛岡市天神町
株コスモ通信システム

▽変更の内容
変更前金額 1億1844万円
変更後金額 1億9210万1千円

25年度予算の昨年との比較

	平成25年度当初予算	平成24年度当初予算	増減額	伸率
1 一般会計	2,893,600	4,628,000	△1,734,400	△37.5
2 国民健康保険特別会計	516,100	476,000	40,100	8.4
3 国民健康保険診療施設特別会計	212,800	206,600	6,200	3.0
(1) 医科診療施設勘定	140,700	137,800	2,900	2.1
(2) 歯科診療施設勘定	72,100	68,800	3,300	4.8
4 簡易水道特別会計	85,800	78,900	6,900	8.7
5 休養施設事業特別会計	247,840	110,700	137,140	123.9
(1) 国民宿舎くろさき荘	242,100	106,000	136,100	128.4
(2) 緑の村	5,740	4,700	1,040	22.1
6 漁業集落排水事業特別会計	21,900	22,100	△200	△0.9
7 後期高齢者医療事業特別会計	24,700	24,000	700	2.9
合計	4,002,740	5,546,300	△1,543,560	△27.8

条例

3月定例会では一部改正10件、新たに制定した条例2件を審議し可決しました。一部をご紹介します。

○普代村教育施設整備基金条例
将来的な教育施設整備に對して財政負担を軽減し、安定的な財政運営を行うために造成するものです。

指定管理者の指定

普代村社会体育館と普代村自然休養村管理センターの指定管理者に普代村社会福祉協議会を指定したものです。指定期間は平成25年4月1日から平成26年3月31日までです。

指定管理制度：公の施設の管理・運営を法人その他の団体に代行させること

第1回臨時議会

第1回臨時議会は1月30日に開かれました。平成24年度一般会計補正予算など3議案を可決し閉会しました。

平成24年度一般会計予算は403万5千円を増額し総額を51億7822万円としました。沢漁港の災害復旧(北防波堤)工事と沢漁港施設機能強化(北防波堤)工事の変更請負契約2件の締結などが主な内容です。

第3回臨時議会

第3回臨時議会は3月26日に開かれ、平成24年度一般会計補正予算案と平成25年度一般会計補正予算案など4議案を可決し閉会しました。

24年度の一般会計補正予算は1億3943万円増額し、総額を53億1439万円としました。また、25年度一般会計補正予算は3133万円を減額し、総額を28億6226万円としました。歳出の主なものは、黒崎漁港施設機能強化事業1億円、緊急雇用事業987万円などです。

新年度 予算

再生可能エネルギーへ1億8千万円

今年度の大きな予算規模となる支出は、公共施設へのソーラーパネルによる電源施設の設置など再生エネルギー導入によるものです。24年度から引き続き行われる4年間の事業で全額国庫補助となるものです。災害時における防災拠点施設等の電源確保及び電源省力化を図ろうとするものです。今後の設置予定箇所は、役場庁舎、管理センター、屋内避難所14か所、くろさき荘、となる予定です。

その他の主な事業

- ◆太田名部加工用水施設整備事業 **2000万円**
1000万円は水産業活性化補助金として
アワビ10万個、ナマコ4.5万個分
- ◆浄化槽設置整備事業 **770万6千円**
一般家庭11基分設置補助の予算
- ◆避難路整備事業 **5250万円**
太田名部上ノ沢線整備
- ◆農業生産基盤整備事業 **1000万円**
茂市、普代排水路整備予定
- ◆水産業経営基盤復旧支援事業 **5555万6千円**
船舶を陸に上げる漁協施設約5億5千万円の内、村の負担金10分の1を計上。
あと10分の1が漁協負担で残りは国庫補助。
- ◆太陽光発電システム導入促進事業 **120万円**
一般家庭に5世帯分の補助予算上限15万円。



診療所駐車場に設置されたソーラーパネル

問 太田名部大沢地区と沢向地区への防潮堤建設の促進について伺う。

村長 平成23年9月に策定した災害復興計画でもこの海岸堤防の整備を掲げて県と国に要望を続けてきている。

大沢地区は、県営太田名部漁港海岸施設として県が事業主体と予定されることから、県が対応の検討を行っている段階である。村としても検討状況の確認を行うべきと考える。1年でも早く県の予算編成の調査費計上へのテーブルに上がるよう要望を強めていく。

沢向地区は、通常事業で予定をすれば村営沢漁港海岸施設として村が事業主体となる。水産庁や県などの事前協議



沢向民家前まで来た津波



太田名部防潮堤内側

など数年かかる作業を段階的に進めていく事となる。浸水のあった住宅地域のかさ上げは、復興庁から具体的な申請をするよう前向きに促

にも事業費的にも早期整備につながるかと考えていた。しかし、地区の皆様と村政懇談会での相談で前向きな方向づけに至らず一旦中断して

期間と費用を要するので議会との十分な協議をし、また、国・県での緊急度、優先度そして費用対効果の判断を注視しながら方向性を決めなければならぬ。

平成25年度に改定される向こう10カ年間の三陸北沿岸海岸保全基本計画では、大沢、沢向ともその整備が必要な地区となる。防災、減災への施設整備の強化を図る国土強靱化施策等の後押しで、その地区の安心安全に取り組んでいく。

課題が複雑化・多様化し、業務の範囲、量とも増大している。現在、保健センターの体制を、保健士2人体勢から管理栄養士1名を増員し、更に専属の臨時職員を配置し、村民サービスの水準を低下させないようにしている。

マンパワーについても県内33市町村での人口に占める保健士並びに保健推進員の割合は、それぞれ上位5番、6番であり、保健士が地域住民の生活の場に入った活動を通して村民の健康課題を把握検討し、最終的にはもっとも効果がある村民自身の自主的な活動につながられるよう検討して行く。

問 元気な高齢者の方が病気になるらないための方策、老人クラブへの資金助成などの考えはないか伺う。

村長 村がコンパクトであるがゆえのそれを活かした保健行政に取り組み、地域に入り膝を交えたより深い活動が必要と考える。老人クラブの活動に対しては、元氣老人作りの支援は検討していく。

防潮堤建設を促進せよ

大上 議員

地区の安心安全に取り組み

梶屋 村長

生活習慣病や介護が必要となられる方を少なくしていくための検診や健康づくり事業などの第一次予防の強化推進が、医療費や介護費用の効率化にも村民の生活の質の改善にもつながるサイクルとなり、村民生活の根幹に関わる主要事業と認識している。近年は高齢化の進展、児童福祉法や障害者自立支援法の改・制定などもあり、その重要性が増し、取り組むべき健康



一般質問って？ (次ページ)

議員個人が、村に対して執行の状況及び将来の方針等について説明を求め又は疑問をたずねる事です。質問内容を事前に伝えておきます。年4回の定例会で行われます。普代村では、1人60分の時間内で行われます。臨時議会ではできません。



議員 坂下

高齢者世帯の安否確認方法を問う

緊急通報装置で対応

村長 柎屋

問 一人暮らしの高齢者世帯の安否確認について伺う。

村長 本村の高齢化率は33%となっている。一人暮らし世帯は160戸を超え、増加傾向にある。

安否確認対策は、村では希望者に緊急通報装置を設置して対応している。

現在12世帯で定期的な連絡、ボタンひとつで緊急通報先への連絡、応答がない場合の措置など夜間を含めて委託対応をしている。

機器への抵抗感があるためか設置数は増えていない。今後の普及拡大が課題である。現在各家庭に設置されている音声放送システムでも同様の仕組みで安否確認ができるものの範囲、通報受信後のフォロワーのあり方など課題が多く、運用までには至っていない。



今後、運用に向けた環境整備に努めていく。

問 民生委員の活動状況とその状況報告に対する行政の取組みを伺う。

村長 現在、村では14名の委員に積極的に活動いただきたい。活動内容は、住民の生活状態を必要に応じて適切に把握いただき、援助を必要とする方がその能力に応じ日常生活を営むことが出来るよう相談に応じ、また、適切な福祉サービスを利用するための情報の提供などを行っている。23年度の活動実績は、相談支援活動は340件、そのうち高齢者に関することが57%、子供に関することが14%などである。

訪問活動では、のべ総回数は684回、連絡調整活動では136回である。会議は年間15回行っている。

村との連携は、個別には必要に応じた訪問への協議、全体的には月1回の民生委員協議会による諸検討会議を行っている。

職務遂行に当たっての諸課員に対する指導を徹底している。

問 職員間の活性化を図れるような人事があっていいと思うが、配置の考え方を伺う。



村長 若い職員はいろいろな部署を回ることが、中堅になってからの能力につながる。職員の活性化のための抜擢配置も参考にさせていただく。

問 不採用通知は受験者に配慮したものか伺う。

また、村内に居住する要件で募集するのは人材の可能性を狭めていないか伺う。

職員の定員管理は適切か

中上 議員

国の改革プランに沿っている

柎屋 村長

村長 丁寧な対応をするよう私自身が浸透させなければならぬと思っている。

指導者の配置ではないが、出納室の前などに立って、来客にお声がけをして対応することを提案している。



農業振興が望まれる

問 野生動物による作物被害の防護対策が農業衰退を防ぐと考える。村の考えを伺う。

村長 本村の鳥獣被害は、日本鹿の被害報告はない。ツキノワグマは、とうもろこし、デントコーン、粟などへの被害が多数ある。また、家畜の飼料を食べ、施設の損傷被害も出ている。

その被害は、畑合計1畝、被害額100万円と推計されている。実際はもつとあると思われる。

対策は、現在猟友会に依頼し、捕獲や追い払いをしている。村では、電気柵の設置補助を行なっているが、まだ2箇所留まり全村での被害軽減には至っていない。簡易電気柵や箱ワナの貸し出しも行っている。

根本解決とはいかないが、今後も狩猟免許取得者の確保育成、防護柵の設置拡大に努める。

問 漁業とのバランスとして

村長 不採用通知は「合格には至りませんでした」という表現で、丁寧な対応を心がけて通知している。

問 児童館が認定こども園になったことで普代村の幼児教育が向上してきた。現場では人員不足を訴えているようだがどう認識しているのか考え方を伺う。

募集の条件について、小規模市町村では村内居住の条件をつける所が多くなってきている。有事の時の対応、住民の身近にいて情報を得るなどの取組みと考える。

一長一短あるのでさらに検討していく。

問 職員の接遇ハンドブックにある、「普代村役場村民の声受付簿」は活用しているか伺う。

村長 活用していない。今後活用するようにしたい。

問 「やる暇がない」ということだと思ふ。せっかく揃えたマニュアルが役に立っていない。指導者を配置できないか伺う。

教育長 幼児教育に対する投資が最も効率的な投資と認識している。その充実には保育士さんの資質の向上が一番である。手が足りない部分はパートさんで対応し最低のところは確保していきたい。



村の将来を担う子どもたち

予算特別委員会

定住促進策、結婚仲介、小・中一貫校建設など問う

予算特別委員会（森田幸一委員長）は、3月6日から8日まで開かれ、平成25年度一般会計予算と6特別会計予算の総額4億274万円を審査し原案のとおり可決しました。主な質疑と答弁をお知らせします。

若者の定住促進は

問 定住促進助成金130万円について伺う。もっと若い人達を積極的に支援して入居者を増し、そして住宅も更に作って行くという村の視点も必要では。

答 他市町村からも入居していただくような思い切った方策が必要だと思っている。住宅使用料や入居条件の緩和等、今後検討する。

基金積立の目的は

問 教育施設等整備基金積立金256万8千円は小・中一貫校建設を目指した基金への積立金ではないのか。

答 教育施設等ということでも小・中一貫校も含まれる。目標金額、方法論等については検討中だ。

子育て支援の充実を

1ザール25t用、格納庫建設、船置場舗装工事などだ。着工は7、8月で完成は26年1月頃の予定だ。

問 子育て支援センターの業務は子育てをしている親を個別にまわったりして支援をする位置づけだと理解しているが人員、体制はととのっているのか。

答 保育士が個別に家庭訪問することは出来ない。大切な支援業務だ。必要な支援は保健センターと相談しながら



子ども園一日入園の様子

問 多くの恵みを与えてくれる山を守っていくために、山に作業道を作る時には

林業振興

今後、若い人たちが頑張るということを手伝うということ、非常に大事なことで。今までのことを検証して前に進みたい。



新築された住宅

ら充実させていきたい。

ウニの畜養

問 ウニの畜養研究の結果は。

答 当初値段の高い時期に出荷し漁師の皆さんの所得向上に繋がればと考え、若い漁師さんたちと取り組んできた。

婚活をもつと活発に

問 結婚仲介に関して、24年度は登録者がいかなかったということだが25年度どのような計画で進めるのか。

答 地域産業活性化の講演会やセミナーを開催して住民の意識啓発、意識醸成を図っていく、普代の魅力体験婚活ツアーや先進地視察を企画し、参加者を集め普代の人と村外の人たちとの交流をして婚活につなげていく。

大事な自主防災組織

問 各地区に自主防災組織を作るということだが、それぞれ地区によって、温度差があると思う。気運をどのように

村が一定の補助金を入れ、長く使えるような作業道を作るべきでは。

答 森林の所有者が山に入る、また山に目が向くという方策を考えることが大事だ。意見をいただきながら、道路開設をしていきたい。

今後のくろさき荘

問 くろさき荘の方向性、ありかたの十分な議論がない中で厨房、食堂の新設1億2千万円の事業費が計上されたが、村民、議会への説明責任が果たされていない。

答 住民へ説明していないとの指摘はそのとおり反省しなければならぬ。営業しながら緊急避難的なものの中で物事を進めさせていただいていることを理解していただきたい。今後の計画については以前にもお話ししておりこれから5年間で議論していきたい。

学力向上策は

問 学力向上対策の取り組み

高めていくのか。

答 24年度に旭日区と上区が設立した。先進的な組織を作っていくなかでその地区にふさわしい防災組織を設立し、他の地区にも設立に向けた動きを作っていく。

社会福祉協議会

問 社会福祉協議会は貸付事業、移送サービス事業など村民に身近な事業をきめ細やかにおこなっているのに補助金55万円減額はどうしてか。

答 社会福祉協議会の収支状況を見ながら、経営管理、維持管理に支障のない範囲で減額したものだ。

はどのような効果が現れているのか。

答 小・中一貫教育、学習塾、家庭教育の充実、読書の充実などで学力は高い伸びを示している。子どもたちに表れている成果・変化を定着させていくことが課題だと思っている。

小・中一貫校建設を進んでいるか

問 小・中一貫校建設に向けての動きが見えない。どのようになっているのか。

答 普代村小・中一貫校施設整備計画策定委員会が事務的な施設整備計画の策定をさせていただいているところだ。新年度早々から名前はまだ決まっていらないが小学生から大人までいろいろな方々に集まっていたら、校舎はどんな校舎が良いとか、学校の名前など弘前大学の北原先生のアドバイスをいただきながらみんなで造っていくかと思っっている。村民の多くの皆さんに関心を持っていたら、学校づ

はまゆり子ども園

問 はまゆり子ども園の保育士の人数は十分なのか。

答 4月・5月の段階では集団生活に慣れていない子どももいるので手が掛かる状況の中で特別支援対応ということでも1名増員した。どうしてもだめだということになればパートの方をお願いして頑張っていく。

クレーン式ドック

問 船を陸にあげるクレーン式ドック、事業費5億5千万円の内容を伺う。

答 村の負担は5500万円だ。60tクレーン一基、クル



普代小学校

くりイコール村づくり・地域づくりと同じだと思っただけで参加していただきたい。

学校公開

問 昨秋の小・中一貫教育学校公開の評価を伺う。

答 県の総合教育センターの所長さんをはじめ県内外から200名ぐらいのお客さんに来ていただき、授業が素晴らしい、子どもたちのやる気、小・中学校の先生たちの連携が良いと高い評価をいただいた。県の教育研究発表会でも発表させていただいた。



村長との話し合い

村民と議会との意見交換会

— 村民の声を実現するために —



上区での意見交換会

園児、児童生徒、教職員の安全を最優先に、避難訓練、防災教育の重要性、通信手段の確保、非常用食料等の備蓄の必要性などを確認している。改善点として、ハード面では、小学校校庭のかさ上げ、避難路・非常階段の整備、防災備蓄倉庫と食料等の配備、無線通信機器の整備などに努めてまいります。ソフト面では、避難訓練の回数を増やしたり、防災教育を授業に取り

▽第2避難場所が管理センターでいいのか？高齢者避難は役場のバス利用が必要。教育委員会として3・11の反省点は何か？

▽駅前を広場ではなく、くろさき荘にしてはどうか。別に新築した場合50人規模で5〜6億円。今の施設の解体、緑化費用が25億円。ジオパークなどの事業が進んであり、現在の場所が一つの基点となることから今の場所が最良と考える。

▽太田名部、黒崎の港の船から物が盗まれている。街灯はあるが、明るさ、基数が足りない。

▽黒崎漁港については、現地を確認の上25年度予算で対応する。太田名部漁港については、県管理漁港であり振興局に要望したい。

▽入れたりするほか、二次避難場所（園児、児童生徒の引渡し場所をB&G海洋センターに予定）の見直し、緊急時の輸送体勢の確保、一斉メール配信システムの整備などに取り組みます。

▽峠さんと金名部さんとの間に24年度予算で計画が進行中。それとは別に25年度新年度予算で1200万を計画している。土地は提供するから早く拡張工事をして欲しいという方もいるので、境界が決まっているところから順次手を付けていきたい。

▽農業の振興策について
原発の風評被害による賠償は中々進まない。特に24年分のシイタケが解決していないが、県、町村会等連携して賠償が進むよう努めていくしかない。

▽農業振興は、寒締めホウレンソウ、枝豆、キュウリなど普代の特徴をいかせるものについて新規の種子代3分の1の助成の新年度予算を組んである。

▽震災復興が一段落すれば農林業の基盤整備が必要だと痛感している。

▽鳥獣被害については、動物保護団体等との関係もあり苦慮しているが、県とも相談しながら対応計画をとっている。（詳しくは、坂下議員の一般質問で回答しています）



萩牛地区



茂市地区



堀内地区

平成25年2月7日、8日、「住民と議員の意見交換会」を実施しました。
12会場で議員を2班に分けて2日間住民の皆様からご提言をいただきました。大変ありがとうございました。

ご意見への対応結果

各会場でのご意見をまとめた結果、30項目以上のご意見ご提言、ご質問をいただきました。紙面の関係上、すべて掲載できませんが、3月定例会の一般質問や、予算委員会での答弁で答えているものもあります。以下に主なご意見を要約してご報告いたします。

▽ご意見への対応結果

▽各会場でのご意見をまとめた結果、30項目以上のご意見ご提言、ご質問をいただきました。紙面の関係上、すべて掲載できませんが、3月定例会の一般質問や、予算委員会での答弁で答えているものもあります。以下に主なご意見を要約してご報告いたします。

▽紙面の関係上、すべて掲載できませんが、3月定例会の一般質問や、予算委員会での答弁で答えているものもあります。以下に主なご意見を要約してご報告いたします。

▽下閉伊グリーンロードの萩牛に下りる道へ標識が必要。25年度予算に予算計上したので対応する。

▽堀内の中央道になかなか手がつかない。土地は提供する車が自由に行き来できるようにして欲しい。
24年度より改良工事の予算を計上している。用地等の状況を確認しながら進める。

▽井戸水を使っている家庭の水質検査を望む。
事前に住民福祉課に連絡頂

▽火葬場が新しくなると住民負担は出ないのか。
すでに新聞等で発表になりましたが、一万円の負担とすることに決まりました。
この負担については、議会として補填するという方向で、負担が無いように要望していく予定です。（地域でのご質問の際には負担はないと答えております。この時点では広域議会の決議事項にありませんでした）
▽人口減少の中、少子化対策はどう進めるのか。
保育費、高校生までの医療費の無料化など、子育て世代の負担軽減策、及び子育て、

村長に聞く

●住民意見を受けて村長との話し合い

村議会では意見交換会での村民の皆様のご意見の中から、村長に直接掛け合うべき内容について2月28日榎屋村長と話し合いを持ちました。

堀内中央道について

国道との接点の道路を、大

工事名	備考	予算
机地区側溝修繕工事	350m	450万円
村道標識設置工事	グリーンロード交差点等	150万円
堀内地区廃水処理工事	旧児童館から南側付近	200万円
小谷地鳥居線側溝布設工事	場所は未確定	100万円
白井堀内線修繕工事	運動公園周辺道	1,000万円
黒崎地区側溝布設工事	場所は未確定	100万円
鳥居地区側溝修繕工事	100mぐらい場所は未確定	100万円
山手地区道路補修工事	茂市、芦渡等	100万円
その他道路安全施設等工事	ガードレール等の修繕	100万円
	合計	2,300万円

意見交換会スケジュールと各地区参加者数

各地区住民104名の方々にご協力を頂き、無事意見交換会を開催できましたことを改めて感謝申し上げます。
以下のスケジュールで移動させて頂きましたが、時間的な事、進行方法などのご意見も頂いております。
今後の参考とさせて頂きたいと思っております。

A班議員

森田
坂下
中村
金子

開催日	時間	地区名	会場	住民参加者
2月7日	9:00~	黒崎	黒崎公民館	17名
	10:30~	鳥居	鳥居公民館	3名
	13:30~	芦渡	芦渡目的集会施設	3名
	15:00~	堀内机	堀内機構造改善センター	7名
2月8日	15:30~	白井	白井漁業研修施設	14名
	17:00~	旭日区・中央区・力持	はまゆり会館	4名
				計48名

B班議員

小屋敷
中上
小中居
熊谷
大上

開催日	時間	地区名	会場	住民参加者
2月7日	9:00~	太田名部	大田名部公民館	9名
	10:30~	茂市	茂市公民館	4名
	13:30~	萩牛	萩牛特産品生産施設	9名
	15:00~	沢向	沢向コミュニティセンター	9名
2月8日	15:30~	堀内	堀内漁村センター	14名
	17:00~	緑区・上区	高齢者活動施設	11名
				計56名

新局長

議会事務局長
坂下 広見



4月より、農林商工課から異動となり、議会事務局で勤務しております。議会事務局での仕事は初めてですが、自分なりに精一杯頑張りたいと思います。異動して、一ヶ月が経ち感じていることは、会議規則などの議会運営についてどのように進めればいいのか効率、効果を考えていかなければならないということです。事務局職員になつたばかりではありますが、議会活動の活性化のために事務局として全力でサポートしていきたいと思っております。

最後に、村議会の傍聴は村議会の活動にふれることのできる身近な方法ですので、ぜひ傍聴してください。次回は6月定例会です。日程が決まりましたらお知らせいたします。

議会の主な動き抜粋

- 1月 30日・第1回普代村議会臨時会(役場)
- 2月 7~8日・村民と議会との意見交換会(村内)
- 15日・県町村議会議長会第64回定期総会、平成24年度東部町村議会議長会臨時総会(盛岡市)
- 20日・平成25年第1回岩手北部広域環境組合議会定例会(二戸市)
- 26日・第7回久慈広域連合議会定例会(久慈市)
- 3月 5~8日・第2回普代村議会定例会(役場)
- 11日・東日本大震災二周年普代村追悼式(管理センター)
- 22日・岩手県沿岸知的障害児施設組合議会定例会(宮古市)
- 26日・第3回普代村議会臨時会(役場)
- 4月 19日・普代村議会全員協議会(役場)

ありがき



▼北国にも日一日と春を感じる今日この頃、草木も芽吹き人もまた躍動の季節、そしてまた、別れと新たな出会いの春でもある、役場定年の方々には長い間ご苦勞様でした。

▼新卒の皆さんも、進学就職とそれぞれの道を行く、しっかりと目標を定め励んでもらいたい。また就職の人は希望の職に付けない状況にあるかとも思いますが、「先は長い」多少回り道をしてその分人生社会経験を積んだことになり、将来必ず生かされ力となるはず。夢に目標に向かって日々努力されますよう。

(坂下重雄)

議会だより編集委員会

委員長 中上 一登
副委員長 森田 幸一
委員 坂下 重敏
小中居 光雄

ふだい議会だより No.123

発行日 平成25年5月16日
発行集 普代村議会
編集 議会だより編集委員会
〒028-8392
岩手県下閉伊郡普代村
第9地割字銅屋13番地2
TEL 0194-2118
FAX 0194-2712
印刷 有限会社 九戸印刷